

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 田中 勝文

- I 開催年月日 令和 7 年 9 月 11 日（木）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 50 分
III 出席委員等〔出席委員〕◎田中 勝文 ○中村 清志 熊木 義城
埜田 悦子 福井 直樹 金森 一郎
大井 正樹
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 藪中 一夫
〔副議長〕 高岡 宏和
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
（福島市民病院長が公務のため欠席）
〔委員外議員〕 なし
〔事務局職員〕 松本 武司 島田 輝 吉本 昌史
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 78 号 令和 7 年度高岡市一般会計補正予算（第 3 号）のうち本委員会所管分
議案第 80 号 令和 7 年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 1 号）
議案第 81 号 令和 7 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 2 号）

及び

- 議案第 98 号 工事請負契約の変更について（高岡市消防本部・高岡消防署庁舎改築
工事）

以上、予算議案 3 件及びその他議案 1 件の計 4 件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○、答弁内容は △ で表示）

【議案第 78 号のうち、社会福祉費及び児童福祉費について】

- 高齢者・障がい者施設や、保育所・認定こども園・幼稚園等に対するエネルギー価格や食材費の高騰に伴う助成について、エネルギー価格については高騰額の 8 分の 1 を助成しており、また、食材費については高騰額の全額を助成しているとのことだが、これらの助成額の違いについて、理由は。また、令和 7 年 7 月から 9 月までの 3 か月分の支援措置となっており、10 月以降については、事業所の状況を見て必要に応じて対応するとのことだが、今後、各事業所へ聞き取り調査を実施する予定は。
- △ 助成には 4 年度から継続して取り組んでいる。4 年度は市単独で実施しており、5 年度以降は、県と市で 2 分の 1 ずつ助成するという考え方のもとで取り組んでいる。県と協調して対応する中で、エネルギー価格については 8 分の 1、食材費については全額の助成とした。また、研修会等のさまざまな場面で各事業所から声を聞く機会があることから、その都度、各事業所の状況等を確認していきたい。
- エネルギー価格については、以前は 4 分の 1 の助成だったものが 8 分の 1 の助成に減っていることから、本市として各事業所の状況をしっかり把握し、県へ伝えていただきたい。また、価格の高騰が継続していることを踏まえ、国へ補助金の要望等を行っていただきたい。(要望)

【議案第 78 号のうち、ようこそ赤ちゃん！おむつ応援事業費について】

- 令和 8 年 3 月 31 日生まれまでの子どもが対象となるのか。また、おむつ券の有効期限は。
- △ 補正予算で実施する事業については、8 年 3 月 31 日生まれまでの子どもを対象としており、おむつ券は合計 6 万円分をお渡しする。対象者によっておむつの購入期間が異なることから、おむつ券の利用については年度内での有効期限を設けていない。誕生から 1 歳に至るまでの期間でご利用いただくことにしている。
- 子育て家庭に非常に喜ばれる事業だと思う。今後とも適切な支援を行っていただきたい。(要望)
- おむつ券が利用できる店舗は。また、オンラインでも利用できるのか。
- △ 富山県医薬品小売商業組合の高岡支部に加盟しているドラッグストアや小売店など、57 店舗で利用できることとしている。また、現時点ではオンラインの利用は想定していない。
- スーパーでは利用できるのか。
- △ 一部、取り扱い可能なスーパーもある。おむつ券が利用できる店舗については、問い合わせがあれば対応するほか、ホームページ等にも掲載していきたい。

【議案第 80 号について】

- ケアプランデータ連携システムの普及を図るとのことだが、どのような取組を想定して補正予算を計上したのか。
- △ 令和 7 年度当初予算においては、介護事業所に対するシステムのライセンス料と実習型の研修会の開催費用にかかる費用を計上していた。このたびの補正予算は、

委託事業者による介護事業所へのシステム導入の働きかけや研修会の開催、システム導入後のアフターフォロー、実際にシステムを導入した介護事業所への取材、その取材内容の取りまとめを行うための予算を計上したものである。

【議案第 98 号について】

- 高岡市消防本部・高岡消防署の庁舎改築工事について、令和 9 年度に予定していた工事を繰り上げて実施するとのことだが、その理由は。また、工事の繰り上げによって工期は変更となるのか。
- △ 7 年度に行う改築工事の中で、敷地の舗装作業を予定している。9 年度に行う予定だった側溝工事においては、舗装箇所を斫る必要が生じることから、改めて舗装作業を行わなくて済むよう、側溝工事の予定を繰り上げるものである。工期については、特に延長となる予定はない。

2 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔生活環境文化部〕

- 。戸籍の氏名のフリガナ届出の状況及び届出等に係る特設会場の終了について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〔消防本部〕

- 。マイナンバーカードを活用した救急活動について

〈 委員から、次のとおり質疑があった。 〉

【マイナンバーカードを活用した救急活動について】

- 令和 6 年度から先行して実施している他自治体の消防本部において、救急車に搭載するカードリーダーやタブレット端末について、不具合等が発生した事例はあるのか。また、本市として、カードリーダーやタブレット端末のセキュリティ対策はどのように行うのか。
- △ 不具合等の情報については、特段寄せられていない。セキュリティ対策については、消防庁が定めるセキュリティガイドラインを遵守した上で運用するよう、全国の消防本部へ通知が出ている。また、消防庁が安全対策の規程の例を示しており、本市としても同規程を策定し、運用していきたい。
- 病歴や受診歴などが入手できれば、救急隊の方々に迅速に情報が伝わるため、よい取組だと思う。しかし、事故を起こした場合などにマイナンバーカードを持ち歩いていない可能性もある。また、マイナンバーカードを取得していない方々もいる。この取組は、マイナンバーカードを取得し、日頃から持ち歩くよう、啓蒙する意図もあるのか。

- △ マイナンバーカードはさまざまなカードと連携しており、例えば保険証として活用することで自身の診療情報や過去の薬剤情報などが、医師や薬剤師にデータで正確に連携される。7年3月からは、運転免許証との連携も進められており、マイナンバーカードの所持につながる環境が整えられていると考える。生活環境文化部としては、この取組は、マイナンバーカードを活用することで救急活動の初動が起きやすくなり、救える命が増えるものだと認識している。
- △ 健康保険証など、社会においてマイナンバーカードが利用される場面が増えてきている。マイナンバーカード自体が情報を保持しているわけではなく、電子証明書（ICチップ）を使い、さまざまなシステムにアクセスし、情報を得る仕組みとなっている。マイナンバーカードを使った利便性の高いサービスが提供されているが、マイナンバーカードの取得は任意であり、サービスの利用については各自で判断いただくものと考えている。
- △ 消防本部としては、マイナ保険証を少しでも救急活動の中で役立たせることができると考えている。救急現場は大変緊迫した状況であるため、この新たな取組をあらかじめ市民の方々に周知することで、円滑な活動が行えるようにしたいと考えている。

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（27名）

生活環境文化部長	長 久 洋 樹	市民病院長	福 島 亘
生活環境文化部次長 環境政策課長	大 野 洋 靖	市民病院事務局長	新 田 裕 子
市民生活課長	中 保 哲 憲	総務課長	塩 谷 慎 久
脱炭素推進課長	中 川 正 人	医事課長	池 守 凡 子
地域課長	長 井 剛 志		
文化国際課長	吉 本 恭 子	消防長	有 澤 智 文
男女平等・共同参画課長	竹 内 文 雄	消防本部次長	布 橋 隆 男
市民課長	布 橋 みちる	消防本部参事 通信指令課長	沙 魚 川 文 春
		総務課長	田 中 秀 和
福祉保健部長	戸 田 龍 太 郎	予防課長	蔭 浦 幸 雄
福祉保健部次長	上 森 智 美	警防課長	佐 野 吉 英
福祉保健部次長 こども家庭センター長	長 谷 川 聡		
社会福祉課長	関 原 総 臣		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	森 川 朋 子		
長寿福祉課長	徳 市 直 之		
保険年金課長	水 野 篤 美		
健康増進課長	竹 田 裕 子		